

ALT (外国語指導助手) コーナー

こんにちは！生名から岩城に異動しましたALTのセリーナです。

この記事で食べ物についてお話ししたいと思います。まずは、お箸のこと。よく、日本では私たち外国人に、「お箸が上手ですねー」と声をかけられます。でも、これはそんなに珍しいことではありません。日本でも色々な世界のお料理が人気です。都会に行くと、インド料理、タイ料理、イタリア料理など食べられます。洋食を食べるときはだいたいフォークとナイフではありませんか？アメリカには中華料理、韓国料理、和食料理、アジア風のレストランがたくさんあります。そういうレストランに行くときはだいたいお箸で食べます。使えない人はなれるまでちよつと食べにくいかもしれないけど、何度も練習すれば、上手になります。お箸を使いたくない人のためにスプーンとかも用意してあるけれど、みんなだいたいお箸で頑張ります。



次は、サンドイッチを紹介したいと思います。日本にサンドイッチはあるけれど、小さくてスナックのような物に見えます。アメリカでよく昼ご飯としてサンドイッチを食べます。まずは、パンを2枚取る。日本の食パンと違って、もっと薄く切つてあるので、日本のように、5枚ぐらいではなくて、たぶん15、20枚ぐらいが一つの袋に入っていると思います。

よくサンドイッチにつけるのはランチ・ミート (lunch meat) (薄く切つてある肉) です。私のお気に入りには七面鳥のスライスです。ランチ・ミートだけでもいいけど、それ以上食欲があれば、チーズのスライス、レタス、トマトとかものせます。パンをトーストしたり、マヨネーズをつけたりするとさらにおいしくなります。

出来上がりはこんな物↓

後は子どもをはじめ、大人にも大人気のサンドイッチはピー



ナッツバターとジェリー (ジャム) です。愛称はPB&Jです。私は子どものとき、ピーナッツバターだけのサンドイッチの方が好きでした。高校生の時、毎日必ずピーナッツバターのサンドイッチを作つて昼ご飯のために学校に持って行きました。



最後に、ベジタリアン (vegetarian) とビーガン (vegan) の食主義について説明したいと思います。(他に分かりやすい言葉もある。肉食主義と絶対肉食主義。) この二つは日本にまだ流行していないため、あまりご存じないと思います。肉食主義になるきっかけは代々自分が食べるために動物を殺すのはかわいそうだからです。

たんばく質を取るために、命を奪うより、豆、ナッツ、など植物からとります。牛、鶏、豚はもちろん、魚イカ、かになど、海の生き物は全部禁止。どんなに小さくても、息をしていたら、食べてはだめです。絶対肉食主義の方がもっと厳しいです。動物そのものだけでなく、動物からの食べ物も禁止。卵とか、牛乳とか、ゼリーを作るためのゼラチン (動物の体の部分からの物) は全部だめ。この人たちは日本で外食するるときけっこう困ると思います。だしは魚で作られているため、いろんなスープ、ソース、タレはいけません。野菜と小さな魚が混ざったり、パスタに小さな肉が混ざったりしたら食べられません。だからこういう生活は時々不便です。でも生き物の苦しみを減らすためにこの人たちはすごいと思います。この生活で頑張っている友達や知らない人も応援しています。

各地区の英会話教室

- 《弓削》 毎週水曜日 19:30 ~ 弓削中央公民館
- 《生名》 毎週月曜日 9:00 ~ 生名公民館
- 《岩城》 毎週木曜日 20:00 ~ 岩城生活文化センター
- 《魚島》 毎週水曜日 19:30 ~ 魚島開発センター

こんにちは 町長です



先日、えひめ防災フォーラムに参加しました。私は上島町の現況報告を行いました。講演の中に東北大地震に対する薄れかけた意識についてのお話がありました。

それは、「被災現場に行かなくても支援できることはある」ということでした。その方法とは、「被災地の産品を買う。」あるいは「現地の支援制度に参加する」ことなどです。

被災直後や復旧対応において、町民の皆様には大きな御支援をいただきました。ただ、復興を目指して動き始めた現場を、私は以前のように関心を持ち続けているかと自問すると、堂々と答えられる自信がありません。

「完全な防災対策は困難であるが、事前避難など減災を図ることはできる。」というお話もありました。上島町民への公助は全力で対応致します。しかし、災害の大きさにより行政が直ちに機能しない場合もありますので、食料の備蓄等、自助でやれる範囲の事柄は、自ら準備して下さい。

復興に向けて動き始めた被災地には、長期間にわたる支援が必要です。離島甲子園に参加できなかった大島中学校の生徒も頑張っています。今後共よろしくお願い致します。

上島町長

上村俊之